

いち の せ 市ノ瀬のヤマモモ

【昭和 38 年 12 月 24 日 県指定 天然記念物】

ヤマモモは赤く甘酸っぱい実が特徴的な常緑高木で、那珂川市の「市の木」として市民から広く親しまれています。ヤマモモが市の木に指定された由来は、中ノ島公園内の「市ノ瀬のヤマモモ」にあります。

市ノ瀬のヤマモモは相接する雌雄の二株が大きくなって内部が腐朽し、大きな空洞を持つ複雑な樹形をしています。

近年ではこのヤマモモが健康に生育できるように、樹勢回復治療と周辺環境の整備を行っています。



なる たけ 成竹のモチノキ

【昭和 38 年 12 月 24 日 県指定 天然記念物】

モチノキは年間を通して見た目の変化が少ない常緑樹であることから、日本庭園では定番の庭木としてよく用いられます。

成竹のモチノキは大きさが大・中・小の3本あり、最も大きい木は根回り 12m、樹高 29mを測る大木です。植えた人物の名をとって、「二三のモチノキ」と言われています。

※私有地内のため、立ち入りはできません。

